

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月23日更新

事務事業名		県・菊池管内・品評会出頭祝金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	丸田 朱莉
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 11	事業連番 10284	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		(開始年度 18 年度) ~ (年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	家畜の体系資質の改良を促進するため、畜産農家が品評会に出頭したときに支払う。 ●平成24年度から、出品頭数1頭につき5,000円、飼料作物出品者は、3,000円
【業務の流れ】	①品評会日程及び出品者の把握 ②資金前途にて現金で祝い金を交付(出品頭数の変更される場合があるため、当日交付が望ましい) ③領収書(連名など)にて精算 ※状況に応じて口座振込みにて交付
【主な予算費目】	報償費
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	畜産振興のため、意欲ある農業者が品評会に出頭することにに対し祝金を交付した。(2経営体)	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
【基準に達しなかった理由】新型コロナウイルスの影響により品評会等が年間6回実施予定であったが開催が1回であったため。		品評会出頭祝金を交付する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア:支払件数(延べ)		全国大会出頭祝金の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
畜産農家。		(単位) 件
		→ア:畜産農家数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
良質牛を出品してもらおう。乳牛・肉牛の体系資質の改良、生産効率の高い牛群を増やしてもらおうことを目的とする。		(単位) 頭
		→ア:出品頭数
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
多くの良質牛を出品してもらおうために成果指標を「出品頭数」とした。目標値については、平成24年度75頭の実績に基づき60頭とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込
① 活動指標	ア 件		16	0	40	2	40	40	40	40
	イ									
	イ									
② 対象指標	ア 件		91	90	105	92	105	105	105	105
	イ									
③ 成果指標	ア 頭		27	0	60	3	60	60	60	60
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	313		383	15	533	383	383	383
	(A) 事業費計	千円	313	0	383	15	533	383	383	383
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1	1	1	1
延べ業務時間	時間	60	10	10	10	10	10	10	10	
(B) 人件費計	千円	237	39	39	39	39	39	39	39	
トータルコスト(A)+(B)	千円	550	39	422	54	572	422	422	422	

事務事業名	県・菊池管内・品評会出頭祝金事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 今後も品評会・共進会の開催が予定されているため、達成見込み有。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 当事業を畜産農家に広く周知し、品評会・共進会への積極的な出品を促す。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成24年度から、出頭全頭に祝い金を送っており、農家の方にも広く知られつつある。例年どおり共進会が開催されれば、成果達成が見込める。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 11499畜産振興事業と関連するため、統合が可能。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 廃止した場合、出頭する畜産農家が減少し、乳牛の改良などを行う者も減る。結果、本市の基幹産業である畜産の衰退にもつながる。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 原則、現金での手渡しで祝い金を渡しているため、委託等では対応できない。また、余計に人件費がかかる。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 出品した畜産農家全てが対象である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 畜産振興のための事業であり、行政の施策として適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

農家の方にも広く知られつつある。例年どおり共進会が開催されれば、成果達成が見込める。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						